

事 務 連 絡
令和 4 年 7 月 6 日

各都道府県消防防災主管部(局) 御中

消防庁救急企画室

熱中症予防対策の強化について（周知）

平素より、救急行政の推進についてご尽力いただき御礼申し上げます。

今年は全国的に例年より早く梅雨明けし、今後も気温が高い時期が続くことが予想され、本格的な夏を迎える中、全国的にも熱中症の発生が懸念されます。これまでも、消防庁では消防庁ホームページ掲載の熱中症予防啓発コンテンツ等を活用し、あらゆる機会を通じて積極的な予防啓発を行うようお願いしているところです。

こうした中、消防庁ではこのたび、全国消防イメージキャラクター「消太」を活用した熱中症予防啓発をテーマとする動画とポスターを新たに作成し、消防庁ホームページに公開しました（別添 1）。

また、「熱中症予防啓発についての取組事例の提供等について（依頼）」（令和 4 年 2 月 1 日付け消防庁救急企画室事務連絡）により提供いただいた取組事例を基に、各消防本部における熱中症予防啓発についての事例集をとりまとめ、消防庁ホームページに公開しました（別添 2）。

つきましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して、上記に記載した熱中症予防啓発コンテンツ等を御活用いただき、下記を参考に引き続き積極的な予防啓発を行っていただきますよう周知のほどよろしく申し上げます。

記

- 1 熱中症予防啓発コンテンツ URL
<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html#heatstroke04>
- 2 「消太」を活用した熱中症予防啓発のポスターと動画について
公開期間は通年で、熱中症予防啓発を目的として自由にダウンロード可能

3 送付物一覧

- 別添 1 報道資料「全国消防イメージキャラクター「消太」を活用した熱中症予防広報の実施」
- 別添 2 熱中症予防啓発取組事例集

【問合せ先】 消防庁 救急企画室 救急連携係
担当：小味課長補佐、入江係長、大浦事務官
TEL 03-5253-7529（直通）
E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp

令和4年7月6日
消防庁

全国消防イメージキャラクター「消太^{しょうた}」を活用した熱中症予防広報の実施

本日7月6日(水)より、全国消防イメージキャラクター「消太^{しょうた}」を活用した熱中症予防啓発をテーマとする動画とポスターを、消防庁ホームページにて公開するとともに、全国の消防本部へこのポスターを配布し、熱中症予防啓発の強化に取り組むよう呼びかけます。

○ 熱中症の発生状況と予防啓発の取組

消防庁では、毎年全国の消防本部を対象に熱中症による救急搬送人員の調査を実施し、その数値を公表しております。今年の5月1日から7月3日までの熱中症による救急搬送人員は、24,495人(速報値)と、昨年と比べると17,296人増加しています。今年是全国的に例年より早く梅雨明けし、今後も気温が高い時期が続くことが予想され、本格的な夏を迎える中、熱中症による救急搬送人員の更なる増加が強く懸念されます。

こうした中、消防庁では、熱中症予防啓発の各種コンテンツを消防庁ホームページの熱中症情報サイトに掲載しているほか、ツイッターによる情報提供や注意喚起など、熱中症予防啓発を推進しています。

○ 今回作成した動画とポスターのねらい、内容について

今回作成した動画は、SNS や、街中のデジタルサイネージによる情報発信などを想定した短時間の構成となっており、より多くの場所でご活用いただけるものとなりました。また、作成した動画をさらに普及、拡散させるため、動画にアクセスできるQRコードを記載した熱中症予防啓発ポスターを作成し、各都道府県を通じて消防本部へ配布します。

今回の動画やポスターを契機として、より多くの皆様に熱中症予防の大切さをお伝えすることができればと考えています。

消防庁HP熱中症予防啓発URL

<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html#heatstroke04>

【ポスター】



【動画】



【問合せ先】

消防庁 救急企画室 小味、入江、大浦
TEL : 03-5253-7529
FAX : 03-5253-7531

熱中症予防啓発 取組事例集



令和4年7月
消防庁救急企画室

はじめに

これから本格的な夏に向けて気温が上昇していく中、全国的に熱中症の発生が懸念されており、各地域において、引き続き積極的な予防啓発を行っていただくことが望まれます。

そこで昨年に引き続き、全国の消防本部の皆様へ、情報共有を目的として、熱中症予防啓発に関する取組事例の提供を任意でお願いしたところ、多くの事例を提供していただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

その中でも、以下の観点から、各消防本部において熱中症予防啓発を行うにあたり、特に参考になると考えた13の事例をご紹介します。今回ご紹介する内容も参考に、皆様の地域で熱中症予防啓発を推進していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ① 行政機関と連携して効果を上げている事例……………(P4～P8)
 - 1 釧路北部消防事務組合消防本部(北海道)
 - 2 千葉市消防局(千葉県)
 - 3 多治見市消防本部(岐阜県)
 - 4 豊田市消防本部(愛知県)
 - 5 宮古島市消防本部(沖縄県)

- ② 地域の事業所や企業等と連携して効果を上げている事例 ……(P10～P14)
 - 1 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部(秋田県)
 - 2 名古屋市消防局(愛知県)
 - 3 明石市消防局(兵庫県)
 - 4 山口市消防本部(山口県)

- ③ 動画や広報誌等の非対面型媒体を効果的に活用している事例……………(P16～P19)
 - 1 浜松市消防局(静岡県)
 - 2 大東四條畷消防本部(大阪府)
 - 3 上島町消防本部(愛媛県)
 - 4 日置市消防本部(鹿児島県)